

森のおくりもの6月



オカモノアラガイ（オカモノアラガイ科）



1991年の6月6日に開園した自然観察の森は、25年がすぎて、この6月6日から26年目に入ります。四半世紀といっても地球の歴史の中ではほんの短い期間です。それでも、森の様子や個々の生物は日々変わり続けています。その一方で、私たち人間の意識も変わってきたのでしょうか。変わるもの、変わらずにあるべきものを頭に置きながら自然観察の森の果たすべき役割を追求していきたいと思います。

【写真・文 館長：早坂 徹】

ヤンマじゃないよ コオニヤンマ (小鬼蜻蜓)



一見オニヤンマに似ている黒地に黄色い縞模様のコオニヤンマは、顔や体の特徴をよく見ると違う仲間であることが分かります。

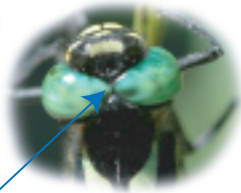
今回は似ているこの2種類を見比べてみましょう。

オニヤンマや、ヤンマの仲間は左右の目（複眼）が一部くっついていますが、コオニヤンマは**目が離れています**。ですので、サナエトンボの仲間になります。そして、**小顔で後ろ脚が長い**ということも特徴です。

顔を見る

食欲旺盛で、他のトンボや、セミなども捕まえて食べてしまいますよ。館長はオニヤンマを食べているコオニヤンマを見たそうですよ。

オニヤンマ



■左右の複眼が一部くっついている

コオニヤンマ



■左右の複眼が離れている

ヤゴを見る

オニヤンマのヤゴ



■オニヤンマの触角は糸状

■コオニヤンマの触角は丸く、小さなしゃもじみたい

とまり方を見る

↓ヤゴから羽化したところ



■縦にぶら下がってとまる

オニヤンマ



*写真協力：K・S氏

■後足が長いので、平坦な面に横向きにとまるよ。

ヤゴ（幼虫）は平べったくて落ち葉みたい。流れが少なく落ち葉が溜まっているようなところに棲み、他の水生昆虫などを食べます。丸い触角が特徴。成虫になるまでに2～3年かかるようです。

【レンジャー：黒川周子】

6月の生物ごよみ

植物

	5月		6月		7月	
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	
ガマズミ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
ヤマタツナミソウ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
ネジキ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
ヤマボウシ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
イチヤクソウ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
オカトラノオ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
クマノミズキ	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	

今年は一ホンカモシカを目撃情報が少なく、2月に2度を目撃情報があっただけで、ほとんど確認されていません。例年だと4月、5月は特に多くの確認があり、昨年は4月10回、5月3回を目撃記録がありました。
 (※職員による目撃情報) 一ホンカモシカは国の特別天然記念物に指定されており、全国に10ヶ所ある『自然観察の森』でも一ホンカモシカを見ることが出来るのは太白山自然観察の森だけです。周辺での一ホンカモシカの目撃情報がありましたら是非お知らせください。

動物

	5月		6月		7月	
	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	
カブトムシが現れる	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
ゲンジボタルが夜空を舞う	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	
ニイニゼミが鳴き始める	[Pink bar]		[Pink bar]		[Pink bar]	

【レンジャー：齋 正宏】

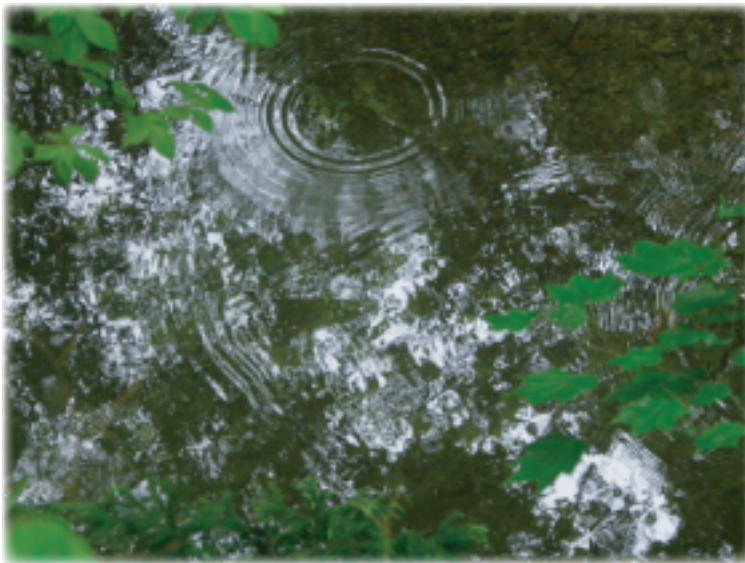


レンジャーの森の雑記帳



太白山自然観察の森にも梅雨の季節がやってきました。例年だと仙台の梅雨明けは7月下旬なので、これから雨の日が多くなります。レンジャーも雨の日の巡回があるわけですが、いざレインコートを羽織って外に出てみると、雨の日ならではの小さな発見をすることがあります。気のせいかもしれませんが、雨に濡れ土の匂いがして晴れているときの森よりずいぶん空気がおいしく感じます。そして木々の葉や幹が雨で濡れてより鮮やかな色になり、いつも見慣れたトレイルがちょっと新鮮に見えたりもします。

晴れているときは、いつもは顔を出す虫たちもあまり姿を見せてくれませんし、森の鳥たちも雨を避けてどこかで休んでいるかもしれません。日本語で雨宿りという素敵な言葉がありますが、虫や鳥や動物たちが突然の雨でどこかで身を寄せ合っている姿を想像してみると、雨の森を歩くのもなんとなく楽しくなったりします。私の雨の日の楽しみは観察の森に小さな湿地や笹川の流れが園内に流れ込むエリアがあって、水面に浮かぶ波紋が見れることです。どれひとつとして同じ波紋は無く、波紋の揺らぎに美しさを感じます。



水面に樹々の葉と空が映り込み、雨による水滴が幾重の波紋を描くとき、まるで印象派の絵画のような複雑な空間がそこに瞬間的に生まれます。雨の日にしか見れない風景に心を奪われる時があります。

【レンジャー：阿部正明】



第1回

「ジャパン」と呼ばれ 日本を代表する文化！！

漆器の魅力再発見



「漆」は「」偏がつく珍しい木です。ウルシ液が語源です。
ウルシ液はウルシの幹の表面に傷をつけて、そこから染み出す樹液を掻き取り採取します。1本の木から1年間で採れる量はコップ1杯程度と貴重なものです。

日本では、縄文時代からこのウルシ液を塗料や接着剤として利用してきました。漆の塗られた器は漆器といい、漆塗りは日本が誇る伝統工芸品としてその美しさと強靭さが評価されており、「ジャパン」と呼ばれています。

秋保大滝の側に、漆器を製作販売する「樹の詩」というお店があります。漆器の魅力について店主の鈴木さんからお話を伺いました。

「抗菌作用があることや熱いものを入れても手に持てたりと機能が優れているだけでなく、漆器は使い込むほど艶が出たり、木目が鮮やかになったりや変化やぬくもりを感じることができる」とのこと。漆器の魅力を教えていただき、「漆」に対して感謝と親しみの気持ちが強くなりました。

- ・中国、インド原産
- ・葉は奇数羽状複葉で互生
- ・花は黄緑色で円錐花序
- ・果実は扁球形で無毛
- ・高さは10～15m
- ・樹液はウルシオールを主成分とする



知って得する！？

漆なるほどメモ

- ☆ウルシのかぶれはツタウルシの方が強烈！
- ☆ウルシのかぶれにはサワガニをつぶした汁が効く（民間療法）
※ちゃんと皮膚科に行こう
- ☆マンゴーやピスタチオもウルシ科の植物
- ☆ハチの巣が枝にくっついているのはウルシを接着剤にしている



使いながら変化を楽しめそうな漆器



鈴木さんと看板犬のマック



観察の森の

ウルシについて

観察の森にはウルシ科の樹木は、ウルシ（※自生ではなく沢浴いに植えられたものもある）、ヤマウルシ、ツタウルシ、ヌルデがあります。

「ウルシはかぶれるから怖い」というマイナスのイメージが強いですが、6月にはどれも黄緑色のかわいい花を咲かせます。また、秋には早くに真っ赤（※場所によっては黄色もあり）になって紅葉がきれいです。



ウルシ
（はおとの道手前広場）



ヌルデ



ツタウルシ



ヤマウルシ

【レンジャー：遠藤和子】



のイベント&お知らせ

◆「おはよう野鳥かんさつ」6月11日(土) 6:30～8:00

- ・初夏の雑木林を歩きながら、野鳥のさえずりを楽しみます。
- 【定員】定員なし 申込み不要
- 【料金】無料
- 【持ち物】歩きやすい服装、雨具、あれば観察用具(身分証提示で双眼鏡の貸し出しあり)



◆「キッズ昆虫たんけん隊」6月11日(土) 10:00～12:00

- ・昆虫を捕まえ、スケッチをしてじっくり観察をします。
- 【定員】小学生15名
- 【料金】無料
- 【持ち物】歩きやすい服装(長袖長ズボン)、帽子、雨具、飲み物
- 【申込み】6月7日(火)9:00から電話で[先着順]



◆「深緑の鉤取山ハイク」6月25日(土) 10:00～15:00

- ・青葉が薫る鉤取山原生林の自然を観察しながら、ハイキングを楽しみませんか?
- 【定員】先着20名
- 【料金】無料
- 【持ち物】歩きやすい服装、雨具、昼食、飲み物
- 【申込み】6月8日(水)9:00から電話で[先着順]



毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

6月の開催日は
5日、12日、19日、26日
開催時間: 10:00～11:30
13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。
◎26日の午前は、自然観察センター館長のご案内します。

6月の休館日

6日、13日、20日
27日



表紙の絵や
原稿を募集
しています。

里山や自然に関するものを
描いて(書いて)ね!
レンジャーからのプレゼント
があるよ!!

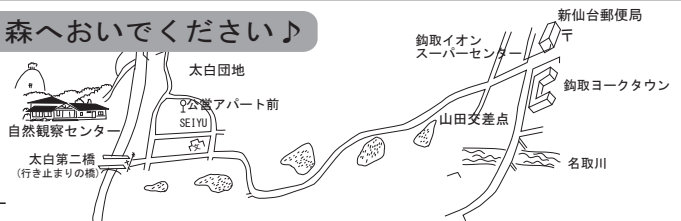
宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町前から
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2016年6月号(毎月1回5日発行)
発行: (公財)仙台市公園緑地協会
編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133
E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp